

日 時 令和6年7月11日（木）18時30分～19時30分

場 所 唐竹多目的集会所

対象地区 唐竹

参加人数 16名

■要望、質疑応答

内 容
<p>○不法投棄について</p> <p>（市民から）</p> <p>業者と思われるような不法投棄が増えている。抑制する方法を検討してほしい。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none">・唐竹や市内に不法投棄が増えていることは把握している。徹底して取り締まりたいが、現行犯か現場から住所が書いたものが見つかるなどでない限りは難しい。まずは原因者を特定することに注力していきたい。
<p>○空き家について</p> <p>（市民から）</p> <p>唐竹地区には空き家が増えていて、今年度の調査では34件だった。解体するにもお金がかかるうえ、税金も高くなるのでなかなか撤去が進まない。敷地内の木が成長し、電線などに影響するなど近所迷惑になっている例もある。良い方法はないか。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none">・唐竹地区の空き家は昨年の17件から今年は34件でかなり増えたと認識している。・市では解体について最大50万円の補助金がある。・固定資産税については特例として解体後3年間は税金が上がらない措置を講じている。・町会長から連絡があった空き家については飛びそうになっていた屋根のトタンを撤去したが、今後も危険なものがあればすぐ対応していくので、ご連絡いただきたい。
<p>○移住者への支援について</p> <p>（市民から）</p> <p>埼玉県から子ども3人を連れて平川市に移住してきた知り合いがいるが、少しでも補助金があれば助かる。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none">・平川市だと学校給食費や高校までの医療費、保育料が無料など子育て面では他市とは異なる支援を実施していると理解していただければと思う。

- ・移住の補助金は「東京圏」となっており、埼玉県も含まれているが、他にも様々な要件があり、窓口でやりとりされたが該当しなかったということで申し訳なく思う。
- ・東京圏以外の市外からの移住者についての補助は財政面でも難しいところがある。
- ・これから生活していくうえで子育て支援などでの様々な援助もあるのでうまく活用していただければと思う。

○駒井蓮さんの起用について

(市民から)

駒井蓮さんの起用について、どのようなメリットがあったか教えてほしい。

(市から)

- ・経済効果について定量的に図ることはできないが、例えば駒井さんが平川市を PR する「ひらり平川びより」の5つの YouTube 動画は延べ 14 万人の方が閲覧している。閲覧者は駒井さんの他に平川市の名勝や物産を見ていると思うので経済効果があると思われる。
- ・駒井さんは昨年の平川ねぶたまつりや 10 市大祭典にも出演したり、TV 番組で市を紹介したりと、様々な場面で平川市を PR しているので、3 年前よりかなり効果があったと思われる。

○竹館小学校が閉校になることについて

(市民から)

竹館小学校が 2028 年度に閉校になるが、市長は広船小学校が閉校になった時、どういう感じであったか教えてほしい。

(市から)

- ・感じ方は人によって異なると思うが、統合した最初の頃は、学校の行事と地域の行事を一緒にできなくなったことについて寂しい気持ちがあった。ただ現在は広船の子供たちはスクールバスで学校に通っているが、今ではそれに慣れるなど、現在の状況に適応しているように思う。メリットとデメリットがそれぞれあると思うが、それを比較したうえで閉校という決断に至ったと考えている。
- ・保護者の皆さんへのアンケートでは全員ではなくとも「早めに統合してほしい」という意見が多かったことにより統合という決断に至った。今後は準備委員会で統合の準備を進めていく。

○放任園について

(市民から)

放任園が増えており、隣園地であっても入っていくことができないほど草が成長してしまい病気の巣窟になっている場所もある。家庭の事情などで廃園になるのはやむを得

ないが、廃園にした場合の自己管理について周知徹底してほしい。

(市から)

- ・来週月曜日から農業委員会の農地パトロールが始まるので対応していく。
- ・放任園や管理不十分な園地についてはその都度所有者に指導しているが、そういった情報があれば農林課・農業委員会に情報提供してほしい。

○乳がん検診について

(市民から)

乳がん検診は40歳以上が無料で受けることができるが、対象を30歳以上などに引き下げることはできないのか。妻を乳がんで亡くしたので娘たちにも受けさせたいが、なかなか話しづらく、検診がきっかけになればと思い質問した。

(市から)

- ・詳しく調べてみて検討させてほしい。当市では子宮頸がんについては先駆けて支援しているのでもちのちは勧めたいと思う。
- ・市の検診については、国の指導で補助対象の年齢区分が決まっている。医学的な面など様々な根拠があったうえでの設定であるのでご理解いただければと思う。

○りんごの開薬器の補助について

(市民から)

今年のりんごは非常に被害を受けている。自分のマメコバチもほぼ全滅している。花粉をとるための開薬器について、JAでは助成があると聞いた。市でも補助があれば助かる。

(市から)

- ・4月から状況調査を開始し、原因や今後について情報収集し分析中である。
- ・県の具体的な対応はない状況のため、JAとすり合わせて対応する方向性。
- ・開薬器を含め、必要な機械をすべて揃えるとなると高額となる。部分的に補助するとしても個人農家が機械を揃えることは現実的でないという考えもある。
- ・茅に代わるマメコバチの巣となるものを今井産業の力を借りて試験中である。
- ・農家の皆さんの負担にならないような対策を探っている最中なので、情報解禁を待つてほしい。

○塩分測定器について

(市民から)

令和3年度のまちづくり懇談会で「塩分測定器」を提案し採用してもらったが、その利用状況について教えてほしい。

(市から)

- ・塩分測定器については乳幼児健診時に配布するなど活用した。子供たちの塩分摂取量は未だに高いので、今後も塩分摂取量を下げようという取組を継続したい。
- ・塩分測定器について、平成 30 年のあたりから配布して 1000 本以上は配布済みで、配布後に結果の調査もしていた。
- ・現在配布は終了しており、次のステージとして保育園の子どもたちの尿から塩分摂取量を測定し、結果を親にフィードバックするという取組を行っている。

○廃園の跡地について

(市民から)

廃園するための伐採・片付けについて、中山間に入っていない園地については対応できかねるので、日当や助成を検討してもらいたい。

(市から)

- ・一番良い方法を検討したいので持ち帰らせてほしい。

○循環バスについて

(市民から)

循環バスについての先行きを教えてほしい。

(市から)

- ・唐竹広船線については、20 年前と比較して利用者が激減している。ほかの路線でもかなり利用者が減っている路線もある。
- ・12 月からはバスを廃止することを検討しており、代わりに乗り合いタクシーを運行させる予定である。予約は必要になるが、時刻表が無いので時間にとらわれず、運行区域内であれば乗継ぎなくまっすぐ目的地にたどり着けるなど、自由度は上がると思う。今後具体的にになれば秋ごろに周知する予定である。